

和歌山病院での実習を終えて



山縣 雅仁

1月30日、31日と御坊の和歌山病院で病院実習させていただきました。1年間ポリクリしてきましたが、初めての泊まりの実習で、どうなるのかと期待半分、不安半分で迎えました。終わった今率直な感想としては本当に有意義な実習で何よりも南方院長先生のいろんな意味での大きさに感銘を受けました。

まず「君達はここまで苦勞してきただろう。君達は分析能力に関しては高いけど暗記となると話は別だ。だからここまで苦勞してきたんだ。けれどこれからは自分の分析能力及び考える力が必要になる。」とおっしゃられたことは自分自身もとても納得できたし、金言でした。そして南方院長先生の胸部X線のセミナーは非常に筋道だっており、論理的で強い納得の連続でした。今までぼんやりとしか分かっていなかった胸部X線の読み取りの道が開けましたように思います。何より勉強で「考える」という自分の大好きな、けれど忘れかけていた大事な感覚を思い出したと思います。さらに夜には美味しい焼き鳥屋に連れて行ってくださり、様々なお話をしてくださいました。話を聞く中で南方院長先生の視野の広さ、人の大きさを感じ、自分もこのようになりたいなあと心から思いました。

2日目はブロンコ体操から結核の後発部位がなぜその場所になるのかなどといった、ただ丸暗記しかしていなかった部分を論理的に説明してくださり、2日目も1日目同様とてもためになる講義でした。Q班は全員南方院長先生に終始引き込まれっぱなしでした。また実際にN95マスクをつけて結核病棟を見学させていただくという貴重な経験もさせていただきました。結核病棟は自分の想像よりはるかにクリーンで清潔なものでした。結核は有名な病気ですが、その分あまり良くないイメージを持たれている方、よくないイメージだけで実はあまりよく分かっていない方も多いと思います。自分もその一人でした。ですが駿田副院長先生のセミナーなどで結核に対する正しい知識、そして結核が疑われる患者さんへの対応方法などを学ぶ中で結核に対するそういったイメージやよく分かっていないことは払拭されていきました。自分の今後に生かすことができる大事な「知恵」と「知識」を学ぶことのできたかけがえのない実習だったと思います。

最後になりましたが、お忙しい中ご指導いただきました南方院長先生、駿田副院長先生はじめ、和歌山病院の先生方、スタッフのみなさま、お世話になりました。本当にありがとうございました。